



2020年8月撮影 於：佐用町

# 復興ルー講座 現地視察版 兵庫県内 復興まちづくり 視察ノート

主催：認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia

復興リレー講座 現地視察版  
兵庫県内 復興まちづくり視察ノート

令和5（2023）年9月発行

# 趣旨・目的

この度は、本復興リレー講座（現地視察版）にご参加いただき、ありがとうございます。皆様とともに、復興まちづくりに関わる学びと、交流のひとつきを共有できることを、大変嬉しく思います。

この視察プログラムは、**まちづくりの事業実施・実行・管理において、「ヒト・モノ・カネ」の調達と維持は、不可欠である**という観点から、その課題に対応する**ノウハウやヒントを学び、共有し合う場**として企画されました。水害を経てもその土地で暮らしを営み、災害さえも「地域資源」の一つとして位置づけながら、まちの魅力を高めるべく、まちづくりを担う各地の方々より、ご知見を共有いただきます。

具体的には、兵庫県の豊岡市、丹波市、佐用町を訪問し、災害により人口減少の課題がより顕著となる中、地域住民や交流/関係/回帰人口など**多様な人々の参画を促す活動や発信の工夫、そして課題の解決や魅力向上に向けたヒト・モノ・カネの調達の手法と内外の連携の在り方**について、**交流しながら各地の状況に応じた具体的な事例を共有**いただきます。この視察と交流が、長沼地区における復興まちづくり計画の実行・具体化に向けたヒントとして役立てていただけると期待しています。

視察先のどのまちも、長沼地区と同じく水害の歴史とリスクを持ちながら、美しい自然資源と歴史資源を活かす、とても素敵なまちです。もちろん、特性はそれぞれ異なる部分もありますが、**得られる教訓や優良事例は、皆様が長沼地区の復興まちづくりを進める上で新たな示唆**となることを、信じて止みません。

この機会が、長沼地区の復興まちづくり計画の実現可能性や活動の成果を一層高める大切なステップになれば幸いです。

どうぞ、実りの多い視察プログラムをお楽しみください。

令和5年9月

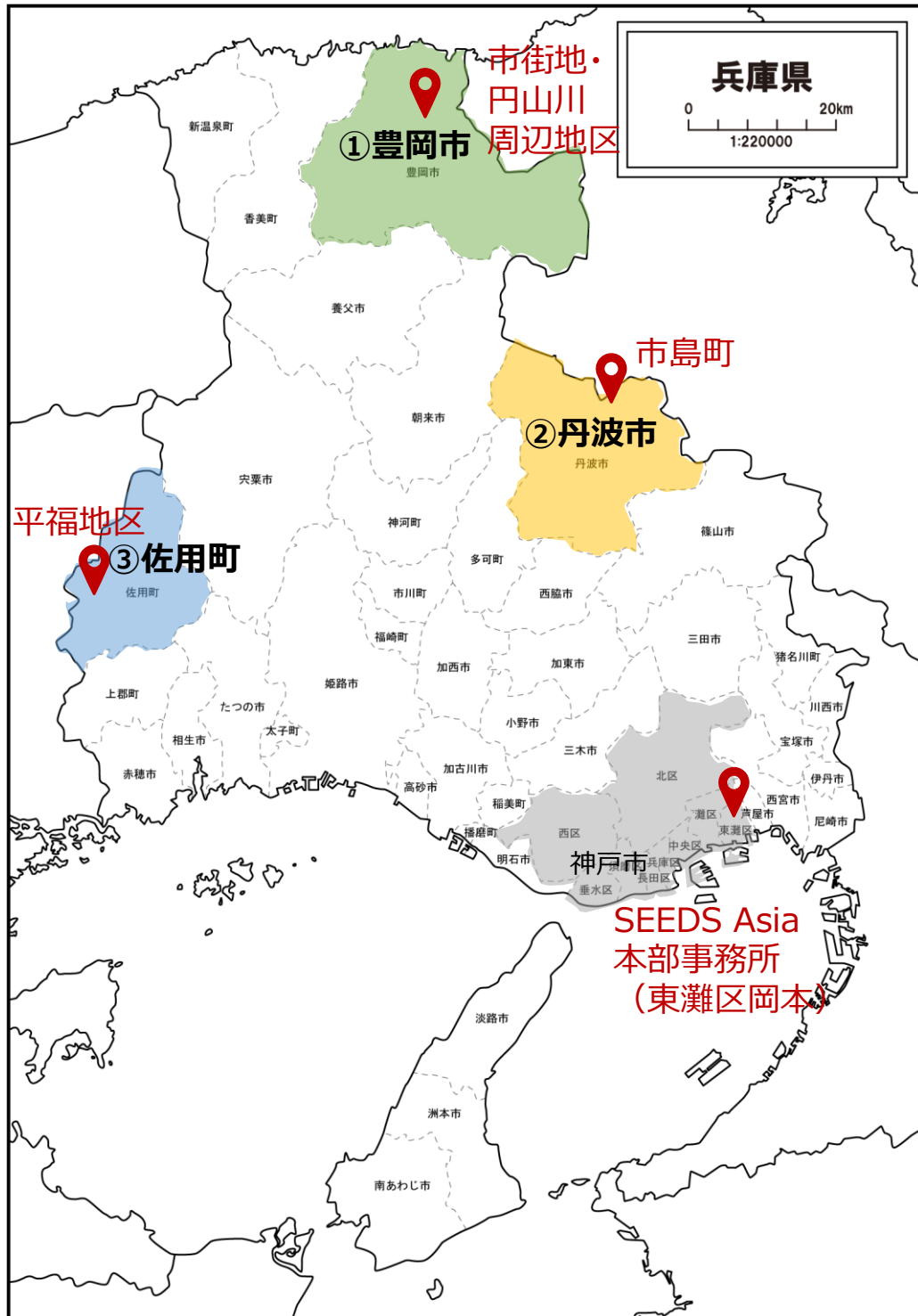
認定特定非営利活動法人 SEEDS Asia

# 目次

1. 視察先地図
2. 全体スケジュール
3. 兵庫県の気候・地形・災害
4. 兵庫県の都市計画区域図
5. 近畿圏の河川概要
6. 視察先に関連する河川の概要
7. 視察先 1：豊岡市
8. 視察先 2：丹波市
9. 視察先 3：佐用町
10. ご協力いただいた皆様
11. 付属資料  
(西暦・元号対照表/戦略的ファンドレイジング概念図/  
京都駅構内待ち合わせ場所)



# 視察先地図



兵庫県の人口 : 5,469,184人  
(令和2 (2020) 年国勢調査)

# 全体スケジュール（1日目）

	時間		講師など
1日目 9/10	7:38	長野駅発【北陸新幹線かがやき501号】	
	8:43	金沢駅着	
	9:02	金沢駅発 JP【特急サンダーバード14号】	
	11:10	京都駅着 →待ち合わせ：新幹線中央乗り換え口改札	
	11:25	京都駅発【特急きのさき5号】	
		昼食（電車内）	
	13:38	豊岡駅着→荷物【豊岡グリーンホテルモーリス】	
	14:00	豊岡まち塾さん事務所	
	14:05	座学：豊岡の災害とまちづくり 1925（T14）北但馬地震、2004年（H16）台風23号	松井 敬代 様 ハミルトン 塁 様
	15:30	車両移動：砂防の父 赤木正雄展示館へ	
	16:00	砂防の父 赤木正雄記念館 訪問	赤木 新太郎 様
	17:00	車両移動・まちガイド（車両二台移動含む）：円山川周辺地区（例：三江地区・立野地区（堤防強化現地再建）・一日市地区・六地藏地区（河川改修により集団移転）・赤石地区（土地改良+農薬→コウノトリ絶滅→環境保全によるコウノトリ復活と農作物のブランディング）など）	松井 敬代 様 ハミルトン 塁 様
	17:30	終了	
	18:00	夕食	
	豊岡泊【豊岡グリーンホテルモーリス】 〒668-0032 兵庫県豊岡市千代田町6-32 TEL: 0796-23-5551 / FAX: 0796-23-5552 URL: <a href="http://www.hotel-morris.co.jp/">http://www.hotel-morris.co.jp/</a>		

# 全体スケジュール（2日目、3日目）

	時間		講師など
2日目 9/11	8:00	豊岡発【豊岡グリーンホテルモーリス】	ジャンボタクシー 74分 日交タクシー豊岡
	9:30	丹波市着：ひなたぼっこカフェ 兵庫県丹波市市島町上鴨坂850	
		ぽんぽ好さんによる講義・案内： 2014（H26）年8月豪雨災害からの「おいしい・楽しい」まちづくり	今井 頼子 様 他
		こんちゃん農園さんによる案内：森林管理と豪雨災害 について学ぶスタディツアーの実践、農業体験を通じた交流人口・関係人口の創出など	今井 貞夫 様 他
	12:00	ランチ：ひなたぼっこカフェ	
	13:00	丹波市市島町発	ジャンボタクシー 105分
	16:00	佐用町着【NIPPONIA 平福宿場町】 〒679-5331 兵庫県佐用郡佐用町平福697-1 TEL: 090-3053-0700	
	16:30	春名さん+地域の方々による講義・案内・座談会： 2009（H21）年台風9号による水害と 「歴史的資源を活かしたまちづくり」	春名 政男 様 他
	18:00	夕食	
	19:00	川端土蔵群のライトアップ視察・まちガイド	北村 広樹 様 他
3日目 9/12	8:00	リレー講座の各自まとめ・発表	オンラインで接続
	10:00	佐用町出発	所要時間 60分 さようタクシー
	11:30	姫路駅着（新幹線口）	
	13:11	姫路駅発【ひかり510号】	
	14:42	名古屋着	
	15:00	名古屋発【特急しなの17号】	
	18:00	長野駅着	

# 兵庫県 の 気 候 ・ 地 形 ・ 災 害

兵庫県は、**3つの海**（注\*）に面し、**地形・気候の多様性**を有する他、日本の標準時を定める子午線（東経135度）が通っていることから、度々「**日本の縮図**」と評されます。

## ■ 地形

山地（67%で日本の平均とほぼ同じ）、盆地、平野、沿岸、島嶼（とうしょ）など、**多様性に富んだ地形**をしています。

## ■ 気候

豊岡市などの**北部**は、日本海に面した**日本海岸気候区**に属し、**冬季を中心に**北からの寒気の影響を受けて雪や雨の日が多くなり、**降水量が多**くなります。

瀬戸内海に面する**臨海部（南部）**は、**乾燥した晴天が続く瀬戸内気候区**となっている他、神戸市では、人口集中・建造物の増加・緑地減少などによって生じる**局所的な都市気候区**となっています。さらに、淡路島**南端は太平洋に面し、温暖湿潤な太平洋岸気候区**の特徴が現れます。

## ■ 災害

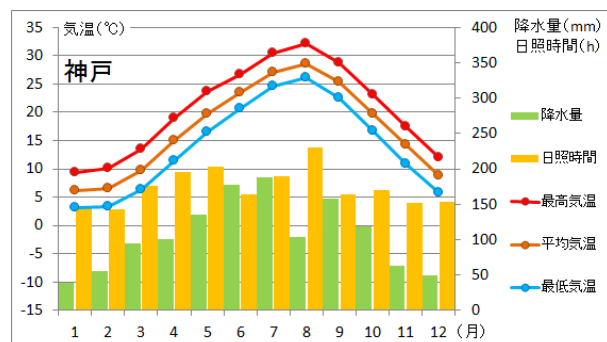
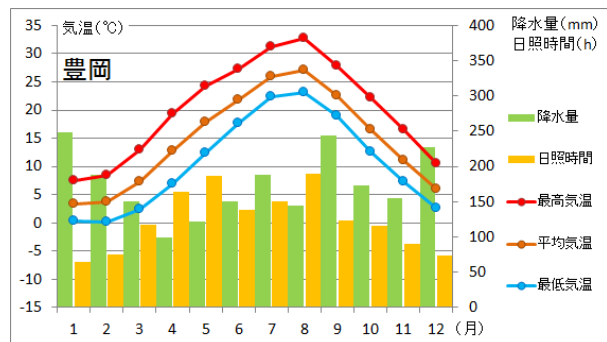
多様な地形・気候である他、中央構造線上に位置していることから、有史以来、多様な災害が記録されています。

風水害による被害は、平成以降にも**平成16年台風23号災害**（2004年：豊岡市）、**平成21年台風9号災害**（2009年：佐用町）、**平成26年8月豪雨災害**（2014年：丹波市）、平成30年台風21号災害（2018年：西日本豪雨災害）などがあります。

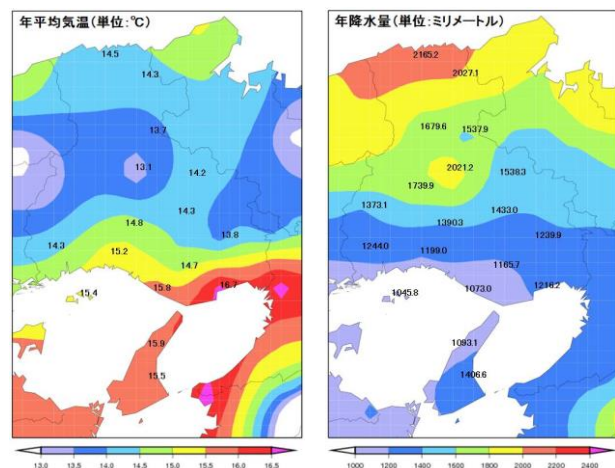
地震被害では、**北但馬地震**（1925年：死者425人、負傷者806人）、**昭和南海地震**（1946年：死者50人、負傷者69人）、**兵庫県南部地震**（1995年：死者6,434人、行方不明者3人、負傷者43,792人）により大きな被害を受けています。

## ■ 陸・海・空の交通網

兵庫県の県庁所在地である神戸市は、人口150万人を超える政令指定都市です。神戸港は世界の物流拠点として港湾都市が形成され、名神/新名神/中国自動車道などの高速道路の他、神戸空港、新幹線やJR/私鉄/市営地下鉄など、多様な交通網が市内に整備されています。



各地の月別平均値<sup>1)</sup>  
（最高気温・平均気温・最低気温・降水量・日照時間・最深積雪）



兵庫県の年間平均気温(左) と年間降水量 (右) <sup>2)</sup>

### 【注】

(\* ) 淡路島の南端が接する紀伊水道は、法的には瀬戸内海であるものの、地理や気候様式として太平洋と分類される

### 【参考・出典】

- 1) 気象庁「近畿地方の平年の天候」より神戸市と豊岡を抜粋し掲載  
[https://www.data.jma.go.jp/cpd/j\\_climate/kinki/main.html](https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/kinki/main.html)
- 2) 気象庁「神戸気象台「兵庫県の気候特性」から抜粋  
<https://www.data.jma.go.jp/kobe-c/climate/kiko/kiko.html>



# 兵庫県の都市計画区域図<sup>1)</sup>

## 豊岡市

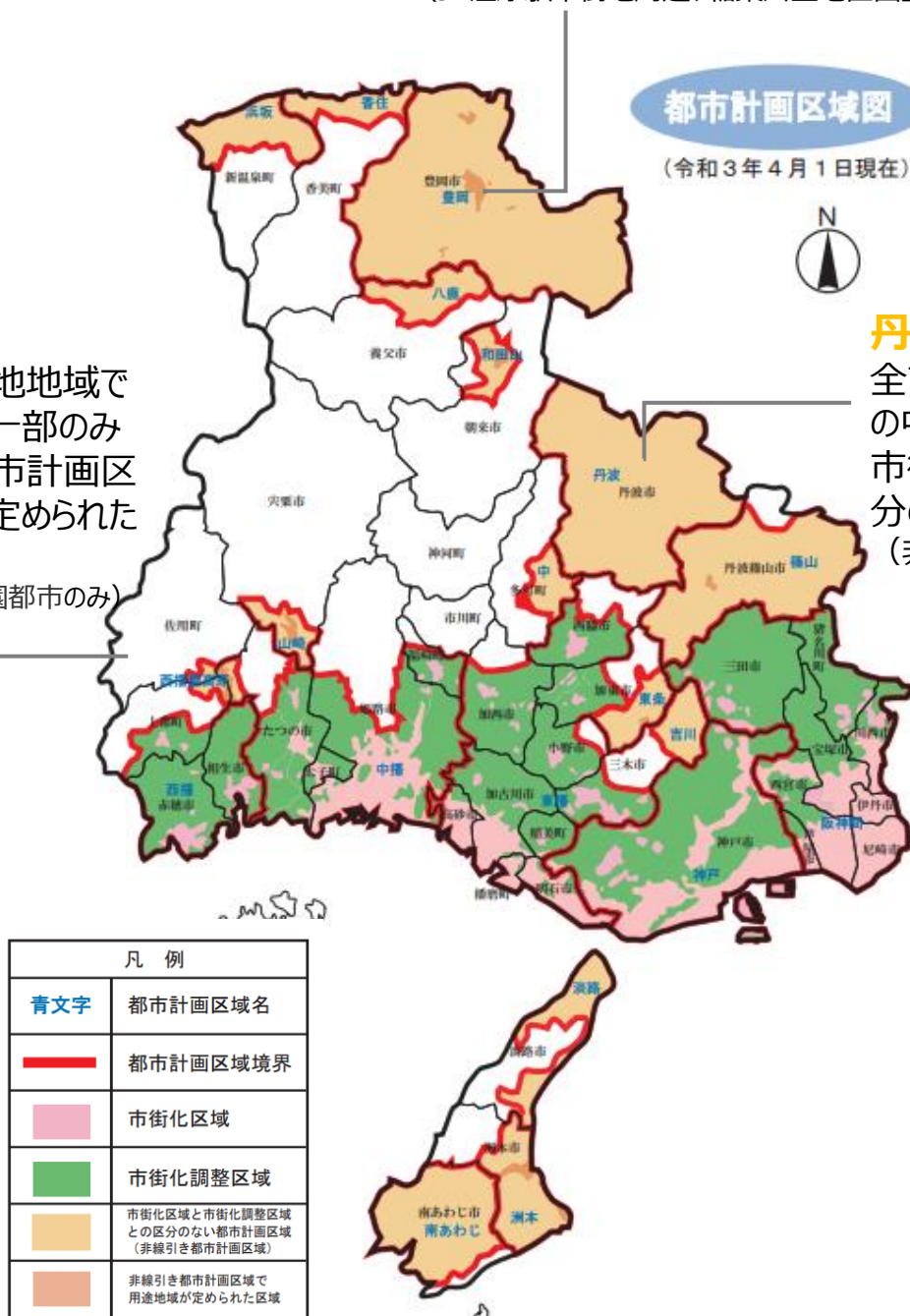
全市域が都市計画区域の中にあり、一部に非線引き(注\*)都市計画区域で用途地域が定められた区域がある  
(JR江原駅市街地周辺、稲葉川土地区画整理事業区域のみ)

## 佐用町

ほとんどが白地地域であるものの、一部のみ非線引き都市計画区域に地域が定められた区域がある  
(播磨科学公園都市のみ)

## 丹波市

全市域が都市計画区域の中にあり、市街化区域と市街化調整区域との区分のない都市計画区域(非線引き都市計画区域)



【注】

\*) 市街化調整区域と市街化区域が分かれていない

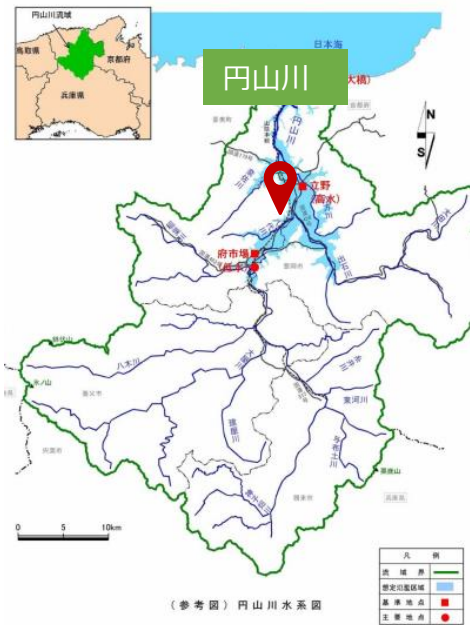
【参考・出典】

1) 兵庫県ホームページ 兵庫県都市計画区域図  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/documents/r3toshikeikakuz01.pdf>

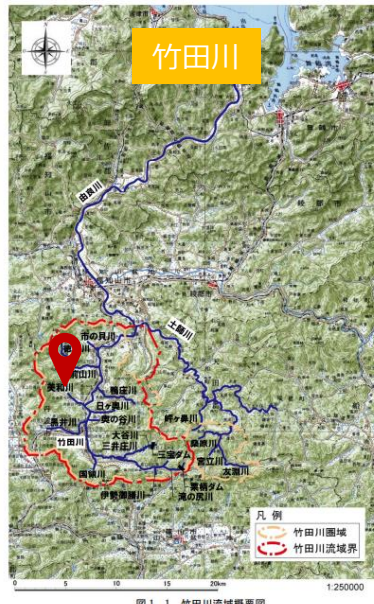
# 近畿圏の河川概要



近畿河川地図<sup>1)</sup>



丸山川水系図<sup>2)</sup>



竹田川 (由良川水系)  
流域図<sup>3)</sup>



千種川流域図<sup>4)</sup>

【参考・出典】

- (1) 国土交通省ホームページ：日本の川－近畿の一級河川 [https://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kasen/jiten/nihon\\_kawa/06\\_kinki.html](https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/06_kinki.html)
- (2) 国土交通省近畿河川局 丸山川水系河川整備基本方針 <https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/jigyoi/img/plan/honbun.pdf>
- (3) 兵庫県 (一) 由良川水系竹田川圏域河川整備計画 (変更) (H28) <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/documents/yura-take-2.pdf>
- (4) 兵庫県 千種川水系河川整備計画 (H24) <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/documents/152kchigusa.pdf>

# 視察先に関連する河川の概要

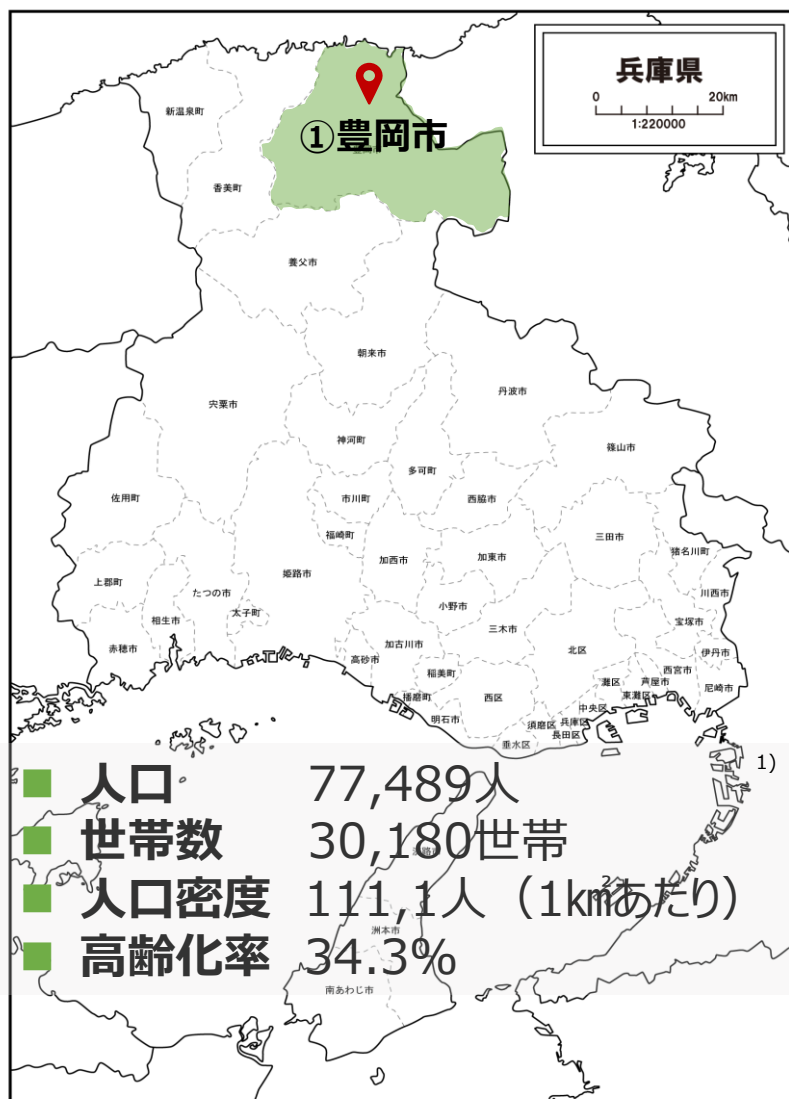
	円山川	竹田川 (由良川水系)	千種川
等級	一級河川	一級河川	二級河川
流域面積	1,300km <sup>2</sup>	208.6km <sup>2</sup>	754km <sup>2</sup>
流域の市町村人口	<b>豊岡市</b> 、養父市、朝来市 約14万人	<b>丹波市</b> ・篠山市 (竹田川→土師川→由良川)	赤穂市、相生市、たつの市、宍粟市、 <b>佐用町</b> 、上郡市町
流域の支川	大屋川、八木川、稲葉川、出石川及び奈佐川等の95支川	市の貝川、前山川、美和川、黒井川、鴨ノ庄川、など13支川	大日山川、志文川、佐用川、安室川、長谷川、鞍居川など
計画高水流量	5,600m <sup>3</sup> /秒 (立野地点)	750m <sup>3</sup> /秒 (前山地点)	1,000m <sup>3</sup> /秒 (久崎地点)
自然資源・土地利用・産業・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山地83%、農地11%、市街地・宅地6%</li> <li>■ 山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐子国定公園、国指定天然記念物の玄武洞や温泉を有する他、「円山川下流域周辺水田」はラムサール条約湿地として登録されている</li> <li>■ 豊岡市は多雨多雪と湿地帯を活かした穀倉地帯となっている他、柳行李の鞆生産を経て現在は国内の鞆生産の最大シェアを占める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山地74%、農地19%、市街地・宅地7%</li> <li>■ 瀬戸内海と日本海の境界となっている「氷上回廊」には秋冬に丹波霧が発生</li> <li>■ 旧石器時代から集落が形成され、複合遺跡がある。</li> <li>■ 文化財保護法に基づく指定文化財（国指定5、県指定13、市指定75）が数多く存在</li> <li>■ 丹波市市島町の五台山周辺地域は県の「環境の保全と創造に関する条例」に基づく自然環境保全地域となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山地約80%、他農地・宅地・市街地</li> <li>■ 飛鳥時代に砂鉄産出、製鉄業で栄える</li> <li>■ 国指定重要有形民俗文化財の上三河の舞台や県指定有形民俗文化財の河呂の農村歌舞伎舞台がある</li> <li>■ 人工改変度が小さく自然景観を残す</li> <li>■ 千種川の河口（赤穂市）は、塩の一大生産地→塩を原料とする製薬工業が興隆し播磨臨海工業地帯の中心地となっている</li> </ul>

【参考・出典】

- 1) 国土交通省ホームページ「日本の川」  
[https://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kasen/jiten/nihon\\_kawa/0602\\_maruyama/0602\\_maruyama\\_02.html](https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0602_maruyama/0602_maruyama_02.html)
- 2) 兵庫県 丹波東部（竹田川流域圏）地域総合治水推進計画 [https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk10/documents/tanba\\_suishinkeikaku\\_1.pdf](https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk10/documents/tanba_suishinkeikaku_1.pdf)
- 3) 兵庫県（一）由良川水系竹田川圏域河川整備計画（変更）（H28）  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/documents/yura-take-2.pdf>
- 4) 兵庫県 千種川水系河川整備計画（平成24年6月）  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/documents/152kchigusa.pdf>

# 視察先 1 : 豊岡市

市街地・円山川周辺地区



市町別人口の推移と将来見通し<sup>2)</sup>

単位：万人

市町名等	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成27年	令和7年	令和17年	令和27年
兵庫県	499.2	527.8	540.2	559.1	553.4	530.6	494.9	453.2
但馬地域	21.8	21.4	20.6	19.1	17.0	15.0	12.9	10.9
豊岡市	9.6	9.6	9.4	8.9	8.2	7.5	6.7	5.8
新温泉町	2.2	2.1	2.0	1.7	1.5	1.3	1.0	0.8
香美町	2.8	2.6	2.4	2.1	1.8	1.5	1.2	0.9
養父市	3.5	3.4	3.1	2.8	2.4	2.0	1.7	1.3
朝来市	3.8	3.7	3.7	3.5	3.1	2.7	2.3	2.0

資料：国勢調査（平成27年以前）、  
国立社会保障・人口問題研究所推計（出生中位・死亡中位仮定）（令和7年以降）

【参考・出典】

- 1) 令和2年国勢調査
- 2) 兵庫県 令和3年但馬区域都市計画マスタープラン（2021年）  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/documents/04\\_1\\_honbun\\_tagima\\_masterplan.pdf](https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/documents/04_1_honbun_tagima_masterplan.pdf)



# 豊岡市 市街地



来日岳から望む豊岡市街地<sup>1)</sup>

## ■ 豊岡市のまちの姿<sup>1)</sup>

豊岡市は、平成17（2005年）、兵庫県の北東部に位置する**1市5町**（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が**合併してできたまち**です。

北は日本海、東は京都府に接し、**中央部には円山川**が流れ豊岡盆地を形成しています。また、火山帯地域でもあり、「山陰海岸ジオパーク」には玄武岩やリアス式海岸などがあります。



2005年に合併

円山川の下流水田地域には湿地などの自然再生事業、耕作放棄田を活用した住民による湿地創出が展開され、2005年9月には、**国の特別天然記念物・コウノトリが放鳥**されました。今では全国に300羽以上のコウノトリが暮らしており、人里で野生復帰を目指すという世界的にも例がない壮大な取組みが進んでいます。

産業は、**農林水産業、観光業などが盛ん**です。特に観光業では、全国的に有名な**城崎温泉**をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間を通じて多くの観光客が訪れています。また、**地場産業としては、全国の4大産地の一つである「かぼん」**や出石焼などの生産が行われています。

## ■ 豊岡市「いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」<sup>1)</sup>

2012年「**豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例**」が制定され、まちづくりの基本的な柱や長期目標が定められています。

1. 命は限られている
2. 命は支え合っている
3. 命はつながっている

この条例では、三つの視点をまちづくりの根幹に据え、「命を守るまちづくり」「一人一人を尊重するまちづくり」「ふるさとを愛するまちづくり」「挑戦する心を育むまちづくり」「人と生きものが共生するまちづくり」を進め、「命への共感に満ちたまち」を実現することを長期目標として定めています。

【参考・出典】

1) 豊岡市ホームページ：まちの姿 <https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/shinoshokai/1023950/1023568/index.html>



# 被災の状況

## ■平成16（2004）年台風23号



写真：平成16年台風23号の海に沈む住宅街（豊岡市江本）<sup>1)</sup>

旧豊岡市は市街地の大部分が河川堤防より低く、洪水時には本流から支流へ逆流しやすい構造です。洪水時には水門を閉め、内水をポンプで強制的に本流へ排出することで浸水被害を防いでいます。

平成16年台風23号における現豊岡市での建物被害は、全壊333棟、大規模半壊1,082棟、半壊2,651棟、一部損壊292棟、床上浸水545棟、床下浸水3,326棟（兵庫県下における被害の約半数）人的被害は死者7人。6人は洪水、1人は土砂災害によるものでした。

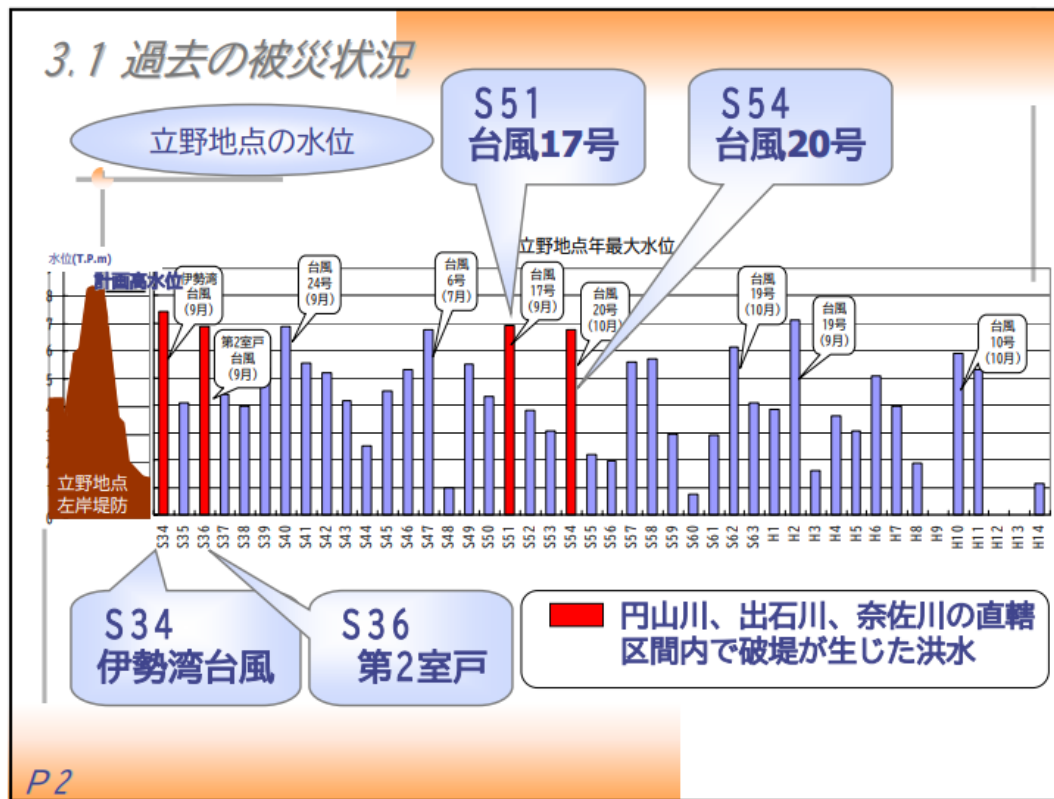


地図：平成16年台風23号による豊岡市内の主被害の分布<sup>1)</sup>

【参考・出典】

1) 豊岡市ホームページ：台風23号の概要（2004年10月20日）  
<https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019920/kakosaigai/1000640/1000649/1000654.html>

## ■ 豊岡市の過去の災害



グラフ：豊岡市における立野地点の水位及び水害<sup>1)</sup>

表：豊岡市における既往水害<sup>1) 2)</sup>

年月日 西暦は対応表を参照	洪水の要因	豊岡市における状況・被害
昭和34年9月26日	伊勢湾台風	雨量240mm、最高水位7.42m 浸水面積16,926ha、浸水家屋16,833戸
昭和36年9月15日	第二室戸台風	雨量187mm、最高水位6.87m 浸水面積2,303ha、浸水家屋1,933戸
昭和40年9月10日	台風23号	雨量145mm、最高水位6.86m 浸水面積 4,187ha、浸水家屋3,782戸
昭和51年9月10日	台風17号	雨量542 mm、最高水位6.92m 浸水面積 2,115ha、浸水家屋 2,855戸
昭和54年10月19日	台風20号	雨量 216mm、最高水位 6.74m 浸水面積 84ha、浸水家屋 170戸
平成2年9月20日	秋雨前線	雨量 466mm、最高水位 7.13m 浸水面積1,923ha、浸水家屋2,212戸
平成16年10月20日	台風23号	雨量 282mm、最高水位 8.29m 浸水面積4,083ha、浸水家屋7,944戸 詳細： 全壊333棟、大規模半壊1,082棟、半壊2,651棟、一部損壊292棟、床上浸水545棟、床下浸水3,326棟、死者7名、負傷者46人、被災者は約1万8千人（市民の約4割が被災）

【参考・出典】

- 1) 国土交通省近畿地方整備局 [https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/00\\_06\\_06iinkai-siryu2-3.pdf](https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/00_06_06iinkai-siryu2-3.pdf)
- 2) 豊岡市主な既往災害 <https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019920/kakosaigai/1000640/1000649/1000653.html>



## ■豊岡市における災害記憶の継承事例

水害常襲地となっている六方平野に位置する新田小学校では、毎年10月20日は、「メモリアルデー」として、水害についての防災・減災授業を行っています。当時の児童が校庭にあったポプラの木を題材に制作した「プラポン」という絵本があり、一年生の道徳教材として活用されている他、「ポプラの木のように」が歌い継がれています。また、児童会を中心に、被災地支援の募金活動などを実施しています<sup>2)</sup>



六方平野に孤立する新田小学校



写真：絵本のプラポン<sup>2)</sup>

写真：平成2年9月20日洪水  
(秋雨前線及び台風19号)<sup>1)</sup>

生き方を考える

### みんなを見守るプラポン

豊岡市立新田小学校の運動場にじゅれい  
50年近くの大きなポプラの木がありました。  
ポプラは、学校の風けいになくはならない  
ものとして子どもたちはもちろん、そつ業生  
や地いきの多くの人に親しまれていました。

2004(平成16)年9月、台風18号が町  
をおそい、その強い風でポプラの木はたおれ  
てしまいました。学校の子もたちや地いき  
の人たちは力を合わせて元にもどそうとし  
ましたが、どうすることもできませんでした。  
みんなにおしまれながら、ポプラは細かく切  
り分けられてしまわれました。でも、何と  
かほそんでいけるのかと、大きな切りかぶ  
だけは、近くのぞう園業者さんに引き取られ  
ていきました。

その一か月後、今度は台風23号の大雨で  
川がはんらんし、町は水びたしにちってしま  
いました。ポプラの切りかぶも、被災に遭  
われてしまいました。

町の水がひくと、みんなはびくびくし  
ました。流されたポプラの切りかぶが、2kmほど  
はなれたたんぼのまん中に、まるではじめか

らそこで育っていたかのように、どう  
どう力強く立っていたのです。新田  
小学校の子もたちや台風のがいて  
苦しんでいた町の人たちは、たんぼに  
立つ大きな切りかぶを何度も何度も見  
におどされました。

春になりました。おどろいたこと  
に、ポプラの切りかぶから新めがいつ  
ぱいふき出してきました。ポプラの木は、たおれても、切られても、そして水に流  
されても一生けん命に生きようとしていました。

新田小学校の子もたちは、その新めをさし木して育てることにしました。そ  
して、「プラポン」と名前をつけて、校庭に植えました。プラポンは、みんなのあ  
いじょうをいっぱい受けてすくすく育ち、見上げるほどに大きくなりました。

今、新田小学校ではプラポンが、校庭で遊ぶ子どもたちを見守るように立っ  
ています。

帰ってきたプラポン

2007(平成19)年3月、ポプラの切りかぶは新田小  
学校にもどってきました。  
ポプラの木としては生きて  
いくことができて喜んで  
が、モニュメントとしてそ  
のすがたをのこし、校庭の  
プラポンといっしょに子ども  
たちを見守っています。

わたしたちも、プラポンのよう  
に強くなりたいね。

道徳 3年 36

37 3年 道徳

写真：兵庫県下全域の小学3年生の道徳の授業教材となっている  
「みんなを見守るプラポン」<sup>3)</sup>

### 【参考・出典】

- 1) 国土交通省近畿地方整備局 [https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/00\\_06\\_06iinkai-siryu2-3.pdf](https://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/maruyamagawa/pdf/00_06_06iinkai-siryu2-3.pdf)
- 2) 兵庫県教育委員会 令和3年度学校安全(防災)総合支援 実践事例集(2022):災害を「自分ごと」としてとらえる防災教育～「台風23号(H16)」からの学び～豊岡市立新田小学校(p.76-p.78) <https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/uploads/sites/3/2023/03/r3jireisyuu.pdf>
- 3) 兵庫県教育委員会 防災教育副読本「明日に生きる:1年生～3年生教材 みんなを守るプラポン」  
<https://www.hyogo-c.ed.jp/~somu-bo/bosai/shou-fuku.html>



# 豊岡メモ@ご活動について

ご案内：豊岡まち塾 松井 様/ハミルトン 様

# 豊岡まち塾のご活動から見たこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト)





# 豊岡メモ@市街地の様子

ご案内：豊岡まち塾 松井 様/ハミルトン 様

# 視察：市内案内から見たこと

(例：コウノトリの復帰)

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネGainパクト)

# 視察：市内案内から見えたこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって（参加者の数、実施回数、アウトプット）

## ■ 何が変わった・変わっているのか（成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト）



# 丹波市について



丹波市



## ■ 丹波市のまちの姿<sup>1)</sup>

丹波市CI (シティアイデンティティ) ポスター<sup>4)</sup>

丹波市は、平成16 (2004) 年、兵庫県の中東部に位置する**氷上郡6町** (青垣町、市島町、柏原町、春日町、山南町、氷上町) が**合併して**生まれました。

中国山地の東端に位置し、武庫川・加古川・由良川の源流を有しています。山に囲まれた内陸性の気候であると同時に、日本海と瀬戸内気候の端境域にあることに加え、瀬戸内海へ注ぐ加古川と、日本海へ注ぐ由良川を分かつ「水分れ」があります。この「氷上回廊」と呼ばれる地域には、多様で希少な生物が多く生息している他、「丹波霧」が発生することにより、全国的に知名度の高い農作物が生産されています。



それぞれの歴史を持つ6町が2004年に合併<sup>2)</sup>

丹波市では、黒井、佐治、和田、成松等、それぞれの城下町や宿場町が形成され、江戸時代以降は陣屋が設けられた柏原藩を中心として発展してきました。

また、市の南端では、平成18年8月に恐竜化石が発見され、「丹波竜」と命名され多くの恐竜ファンが訪れています。

## ■ 丹波市 「未来に夢と希望と誇りを紡ぐまちづくり」<sup>3)</sup>

丹波市は、2016年に「丹 (まごころ) の里 創生総合戦略を策定した他、令和元年に「まちづくりビジョン」を策定し、まちづくりの方針を『まちの姿』と『暮らしの姿』として設定しています。

### 【まちの姿】

「市の中心部には、全市的な都市機能の一定の集積が見られるとともに、それぞれの地域には、自然・田園環境と調和したまちなみと日常生活に必要な生活環境が維持され、全市的に都市機能の役割分担が明確化されています」

### 【くらしの姿】

「市民は、夢と希望と誇りを持って住み慣れた地域で暮らし続ける中で、必要な時には市の中心部に出掛け、集積された都市機能サービスを手に入れることができます」



【参考・出典】

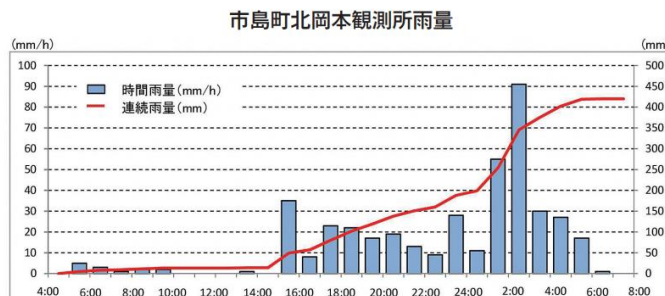
- 1) 丹波市ホームページ 市の概要: <https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/kikaku/sigaiyou.html>
- 2) 丹波新聞 2020年9月9日 田中豊茂氏記事 乱]で自立化した国衆 京に近く否応なく巻き込まれ【丹波の戦国武家を探る】  
<https://tanba.jp/2020/09/%E3%80%8C%E4%B9%B1%E3%80%8D%E3%81%A7%E8%87%AA%E7%AB%8B%E5%8C%96%E3%81%97%E3%81%9F%E5%9B%BD%E8%A1%86%E3%80%80%E4%BA%AC%E3%81%AB%E8%BF%91%E3%81%8F%E5%90%A6%E5%BF%9C%E3%81%AA%E3%81%8F%E5%B7%BB%E3%81%8D/>
- 3) 丹波市ホームページ まちづくりビジョン (2019) <https://www.city.tamba.lg.jp/uploaded/attachment/46994.pdf>
- 4) 丹波市ホームページ シティアイデンティティ春・夏版 (掲載は夏版) <https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/kikaku/cirinen.html>



# 被災の状況

## ■平成26（2014）年8月豪雨災害

2014年7月末～8月上旬は、台風11号、12号が相次いで日本に接近し、前線が停滞しました。この影響により、丹波市内では市島・氷上地域を中心に局所的な集中豪雨となり、市島地域北岡本地点では1時間に91mmの猛烈な雨（24時間累積雨量414mm）を観測したことが記録されています。



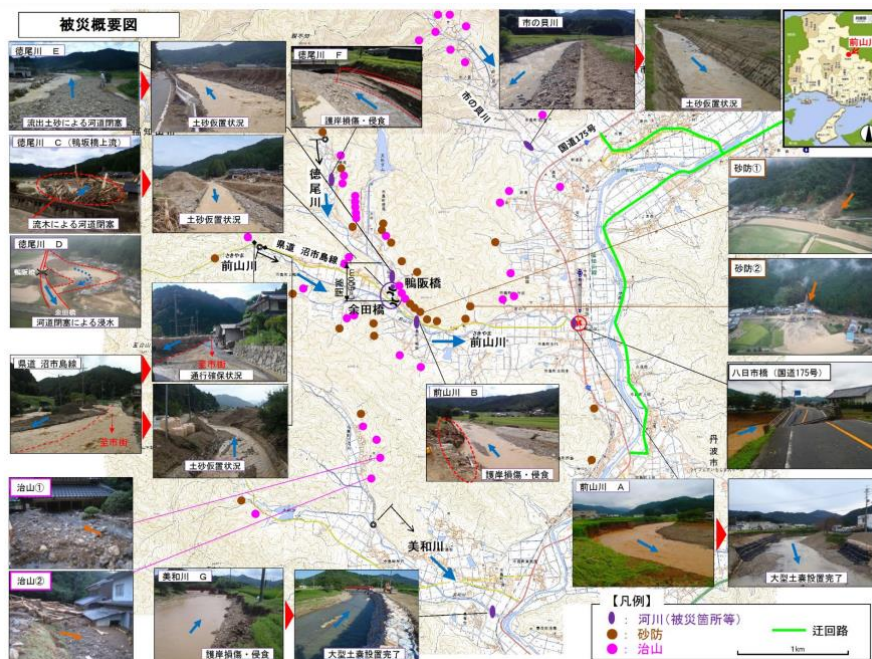
写真：降雨量グラフ（市島町北岡本地点） 1)

この豪雨によって、256カ所（人家影響は104カ所）の土砂災害が丹波市内で発生しました。土砂・流木が河川を埋塞したため、下流部の家屋や農地にも被害が及ぶ結果となりました。



写真：平成26（2014）年土砂の被害を受けた家屋と農地（市島町） 2)

丹波市における建物被害（住家）は、全壊18棟、大規模半壊9棟、半壊42棟、一部損壊1棟、床上浸水169棟、床下浸水784棟。人的被害は死者1人（土石流による）と記録されています(1)。



地図：平成26年8月豪雨による丹波市内の主被害の分布 4)

【参考・出典】

- 1) 丹波市 平成26年豪雨災害復興記録誌 第2章豪雨災害の概要 <https://www.city.tamba.lg.jp/uploaded/attachment/47409.pdf>
- 2) 写真：丹波市より提供
- 3) 国土交通省 平成26年災害 p.19 [https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/1126dosa/150331\\_H26saigai.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/1126dosa/150331_H26saigai.pdf)
- 4) 兵庫県 平成26年8月豪雨災害からの復旧・復興について [https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk10/documents/4\\_saigai.pdf](https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk10/documents/4_saigai.pdf)

## ■ 丹波市市島町の過去の災害

表：丹波市市島町における既往水害<sup>1)</sup>

年月日 西暦は対応表を参照	名称	被害の概要
昭和34年9月26日	伊勢湾台風	市島町：死傷 10 人、家屋半壊 21 戸、床上浸水241戸、床下浸水528戸
昭和36年9月16日	第二室戸台風	市島町：被害総額4222万円
昭和37年6月9日	梅雨前線 集中豪雨	市島町：床下浸水45戸
昭和39年9月25日	台風第25号	郡内：床上浸水117戸、佐治降水量139mm
昭和40年9月9～10日	台風第 23・24号	市島町：死者1名、家屋全壊19棟・半壊90棟、神池寺本堂全壊
昭和47年9月16日	台風第20号	市島町：死者2人、行方不明2人、家屋浸水95戸、橋流失3、土木農業施設被害67件、被害額18000万円
昭和49年9月8～9日	台風第18号	市島町：家屋被害103棟、床下浸水16戸
昭和58年9月28日	台風第10号	市島町：負傷者 1 人、床上浸水 67戸、床下浸水 190 戸、公共土木施設被害135件、農林業施設被害201件、農作物被害178ha
平成2年9月19日	台風第19号	市島町：負傷者1人、床下浸水98戸、公共土木施設被害31件、農林業施設被害79件、農作物被害28ha
平成16年10月20日	台風第23号	旧6町：死者3名、負傷者5名、住家半壊231棟、床上浸水49棟、床下浸水555棟、非住家被害288棟
平成17年9月6～7日	台風第14号	公共建物で9件、物置損壊、倒木30数本等
平成18年7月19日	梅雨前線	床下浸水6世帯、道路・河川2箇所、通行規制等4箇所、山腹崩壊5箇所、水稻被害85.5ha
平成18年8月12日	集中豪雨	市島地域：床下浸水8世帯、道路路肩崩壊3箇所、農地法面崩壊1箇所
平成23年5月11日	集中豪雨	市島地域：民家裏山土砂崩れ1箇所
平成23年9月20日	台風第15号	市島地域：床下浸水2棟
平成23年11月19日	集中豪雨	市道特16号線福田坂崩落
平成25年9月2日～4日	集中豪雨	市島地域：床下浸水3棟
平成25年9月15日～16日	台風第18号	市島地域：床下浸水1棟
平成26年8月16～17日	集中豪雨	市島地域：死者 1 名、負傷者 1 名、住家全壊 18 棟、大規模半壊 9棟、住家半壊 39 棟、床上浸水 112棟、床下浸水351棟 時間雨量最大91mm/時、被害総額約100億円、林地崩壊256箇所、道路崩落29件、河川崩壊78件 農地1,610筆、農業用施設805件、林道21件 電気・電話・上下水道の不通、道路通行止、橋梁崩壊、鉄道不通

【参考・出典】

- 1) 丹波市防災計画総則 市内の主な既往災害 p.35-p.38の内、市島町のみを抜粋して掲載  
<https://www.city.toyooka.lg.jp/bosai/1019920/kakosaigai/1000640/1000649/1000653.html>



## ■丹波市における災害記憶の継承事例

丹波市教育委員会は、平成26年の豪雨災害の経験や教訓をつなぎ、児童生徒が自然災害から自らの命を守る適切な判断力や主体的に行動する態度を育成できるよう、丹波市独自の防災教育教材「心つなぐ（復興のスローガンとなっていたもの）」や動画教材などを活用した防災教育を実施しています<sup>1)</sup>。

尚、本教材の作成及び教員研修は市の委託を受けてSEEDS Asiaが作成・実施しました。



防災教育教材「心つなぐ」高学年用<sup>1)</sup>

## ■水害がつかないだ丹波と信州のおはなし



写真：水害を経験した小布施に、丹波から栗の苗を取り寄せたことを伝える「すんない姫と小布施栗」のお話（小布施町内で撮影）

【参考・出典】

- (1) 丹波市教育委員会 令和三年度丹波市の教育実施計画  
<https://www.city.tamba.lg.jp/uploaded/attachment/54819.pdf>



# 丹波メモ@ご活動について

ご案内：丹波市復興助成プロジェクト会 ぽんぽ好の皆様

# ぽんぽ好のご活動から見たこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト)



# 丹波メモ@ご活動について

ご案内：こんちゃん農園の皆様



# こんちゃん農園のご活動から見たこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト)

# 視察先3：佐用町

平福地区



市町別人口の推移と将来見通し<sup>2)</sup>

単位：万人

市町名等	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成27年	令和7年	令和17年	令和27年
兵庫県	499.2	527.8	540.2	559.1	553.4	530.6	494.9	453.2
西播磨地域	81.3	85.2	86.9	86.4	84.0	79.2	73.1	66.5
姫路市	47.9	50.6	52.8	53.6	53.6	52.0	49.3	46.2
たつの市	7.8	8.3	8.3	8.2	7.7	7.0	6.2	5.3
福崎町	1.8	1.9	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0	1.9
太子町	2.5	3.0	3.2	3.3	3.4	3.3	3.1	2.8
相生市	4.2	4.0	3.6	3.2	3.0	2.8	2.5	2.2
赤穂市	5.0	5.2	5.1	5.2	4.9	4.4	3.8	3.2
上郡町	1.7	1.9	1.9	1.8	1.5	1.2	1.0	0.7
<b>佐用町</b>	<b>2.6</b>	<b>2.5</b>	<b>2.3</b>	<b>2.1</b>	<b>1.8</b>	<b>1.4</b>	<b>1.1</b>	<b>0.9</b>
宍粟市	4.9	4.9	4.8	4.3	3.8	3.1	2.5	2.0
神河町	1.5	1.4	1.4	1.3	1.1	1.0	0.8	0.7
市川町	1.5	1.5	1.5	1.4	1.2	1.0	0.8	0.6

資料：国勢調査（平成27年以前）、  
国立社会保障・人口問題研究所推計（出生中位・死亡中位仮定）（令和7年以降）

【参考・出典】

- 1) 令和2年国勢調査
- 2) 兵庫県 令和3年但馬区域都市計画マスタープラン（2021年）  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/documents/04\\_1\\_honbun\\_tagima\\_masterplan.pdf](https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks21/documents/04_1_honbun_tagima_masterplan.pdf)

# 佐用町



佐用町のひまわり畑<sup>4)</sup>

## ■ 佐用町のまちの姿<sup>1)</sup>

佐用町は兵庫県西部に位置し、岡山県との県境地にあります。平成17（**2005**）年、佐用郡の佐用町、上月町、南光町、三日月町の**4町の合併**により、現在の佐用町が生まれました。

中国山地内陸部から瀬戸内海に注ぐ千種川の上流に位置し、作用川、暮山川、志文川へと広がる**羽状流域が形成され、その谷底平野にまちが形成**されてきました。この千種川は、日本の名水百選に選ばれており、清流アユ釣りの太公望で賑わうことで知られています。また、130万本のひまわり畑には多くの観光客が訪れます。また、満天の星、山肌に連なる棚田、ホテルやメダカが生息する豊かで美しい自然環境、霧の上に浮かんだ雲突城（利神城）、宿場町平福の町並み、こども歌舞伎などの文化遺産が守られています。



4町地図<sup>2)</sup>：  
2005年に合併

町の南部にある播磨科学公園都市には、研究機関として世界最高性能の放射光施設SPring-8があり、兵庫県立西はりま天文台には、公開用としては世界最大の2m反射望遠鏡「なゆた」があります。

## ■ 佐用町「絆できらめく・ひと・まち・自然 未来へつなぐ共生の郷」<sup>3)</sup>

平成29（2017）年に「**絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷 わたしたちの手で作る わたしたちのまち 佐用**」という将来像を掲げ、まちづくりの最上位計画として、佐用町第2次総合計画(平成29年度から令和8年度)が策定され、取組が進められています。

### 基本理念

- ・自然と歴史・文化を育み未来につなぐまち
- ・協働で夢と希望をつくるまち
- ・温かい絆と一人ひとりを大切にするまち

### まちづくり基本条例前文（抜粋）【平成25年4月1日施行】

わたしたちは、先人のたゆまぬ努力と営みによって大切に守り育てられてきたこれらの財産や自然を大切にして未来に引き継ぐとともに、安心して暮らせるまち、人を思いやり、人と人との絆が豊かな、夢や希望の持てる優しさのあふれるまちづくりを目指します。

【参考・出典】

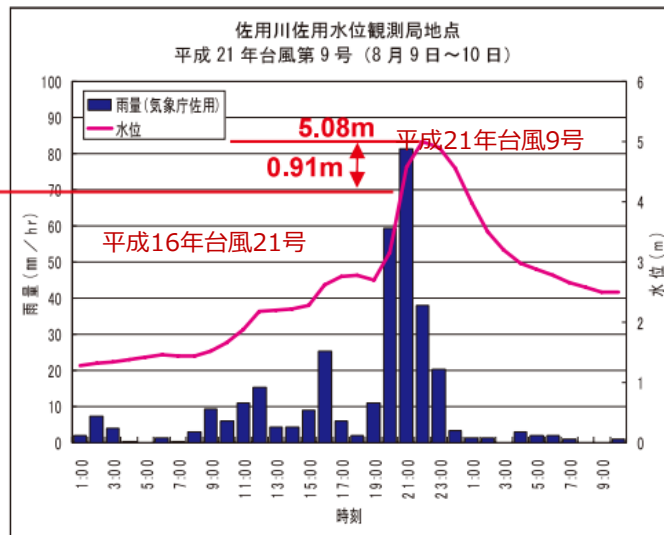
- 1) 佐用町ホームページ：佐用町について <https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/teijyu/about/index.jsp>
- 2) 佐用町ホームページ：佐用町防災マップ <https://www.town.sayo.lg.jp/bousai/bousaimap.html>
- 3) 佐用町ホームページ：佐用町第2次総合計画 <https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=3649>
- 4) 佐用町観光協会パンフレット：<https://www.town.sayo.lg.jp/kankou/gururi-sayo.pdf>

# 被災の状況

## ■平成21（2009）年台風9号

平成21年台風9号は、町史最大の記録的豪雨（89mm/時、326.5mm/日）をもたらし、千種川および支流が氾濫しました。

死者18名、行方不明者2名の人的被害の他、前回139棟、大規模半壊269棟、半壊483棟、床上浸水157棟、床下浸水74棟の家屋損壊、山林、河川・道路・農地・農業用施設など、甚大な被害が発生しました。



グラフ・図 佐用町で観測された雨量・水位 1)

人的被害は4歳の子どもから親世代が多数を占めており、避難中に濁流に巻き込まれたことが検証によって報告されるなど、多くの教訓を、提言として記録し発信しました(2)(3)(4)。

この災害は、その後の国内における避難の在り方、（その情報の発令や伝達のあり方を含む：避難所への水平避難だけでなく垂直避難の可能性など）、合併後の小規模自治体の防災態勢のあり方を考える契機となったと言われています(1)(3)(4)。



図：平成21年台風9号による佐用町内の主被害の分布1)

【参考・出典】

- 1) 佐用町 災害復興計画「きらめきプラン」 <https://www.town.sayo.lg.jp/bousai/saigaihukkoueikaku.pdf>
- 2) 佐用町台風第9号災害検証委員会 台風第9号災害検証報告書（2010年7月24日） [https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/open\\_imgs/info/0000002342.pdf](https://www.town.sayo.lg.jp/cms-sypher/open_imgs/info/0000002342.pdf)
- 3) 室崎義輝 復興学会論文集（2013）第7号Vol.5 No.1 特集 水害後の復興事例：佐用町の災害復興計画「きらめきプラン」について <https://f-gakkai.net/wp-content/uploads/2013/09/07-1-7.pdf>
- 4) 牛山素行 片田敏孝（2010）自然災害科学学会論文集 p.205-p.218, 2009年作用豪雨災害の教訓と課題



## ■ 佐用町 平福地区の過去の災害

佐用川は川底が浅く、岩盤が固く浸透しにくいことに加え、まちが谷底平野に形成されてきた過程から、水のある暮らしを前提としており、同時に川の氾濫・水害は避けることのできない地域にあったと言えます。昭和 49 年台風第 8 号（7月）昭和 51 年 台風第 17 号（9月）、平成 16 年 9 月の台風第 21 号においても千種川流域全体で被害が記録されています。

## ■ 阪神淡路大震災の教訓を踏まえた官民協働の復興計画の先駆的事例

“復興では、そのプロセスがとても大切である。プロセスが正しければ、自ずと正しい結果がついてくる。それゆえ、被災者や住民の声が反映できる、計画策定 や合意形成のプロセスを大切にしなければならない”

- 室崎益輝先生<sup>1)</sup>

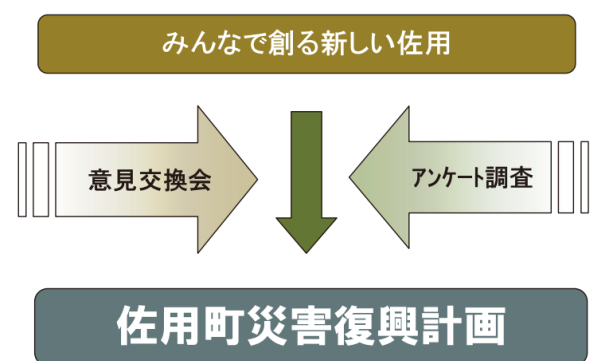
佐用町災害復興計画では、まず災害の検証（自省的視点）として行政の防災体制、災害情報の伝達、地域防災のシステム、災害救援のあり方などについて、90 項目の提言としてまとめられた他、協働的視点として地域住民の声が丁寧に反映されています。これを可能にしたのは、計画の策定委員会の構成を有識者中心ではなく、地元住民を中心にしたことで、丁寧に住民の声を拾い、官民協働の復興が行われたことが記録されています。



佐用町災害復興計画検討委員会の様子<sup>3)</sup>



佐用町災害復興計画きらめきプラン表紙<sup>2)</sup>



佐用町災害復興計画きらめきプランのプロセスを概念的に示した概念図<sup>2)</sup>

### 【参考・出典】

- 1) 兵庫県 平成24年千種川河川整備計画（2012年） <https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks13/documents/152kchigusa.pdf>
- 2) 室崎益輝 復興学会論文集（2013）第7号Vol.5 No.1 特集 水害後の復興事例：佐用町の災害復興計画「きらめきプラン」について <https://f-gakkai.net/wp-content/uploads/2013/09/07-1-7.pdf>
- 3) 佐用町 災害復興計画「きらめきプラン」 <https://www.town.sayo.lg.jp/bousai/saigaihukkoukeikaku.pdf>
- 4) 佐用町災害復興計画「きらめきプラン」参考資料 <https://www.town.sayo.lg.jp/bousai/sankousiryou.pdf>



## ■ 佐用町における災害記憶の継承事例

平福地区では、災害記録がまちの様々な場所に残されているのを目にすることができます。



個人宅の軒先で、まちの魅力や  
災害記録を伝える空間



川端土蔵群に遺された水位の記録



平福地域浸水実績図

久崎地区には、災害の記憶と記録を継承することを目的としたモニュメントが建造されています。



写真 佐用町久崎地区に建てられている「語り継ぐ」モニュメント<sup>1)</sup>

【参考・出典】

(1) モニュメントファクトリーホクไก : <https://monumentfactory-hokkai.com/works/2017/03/76/>



# 佐用町メモ@ご活動について

ご案内：春名様の活動紹介＋地域の皆様との座談会

# 平福地区のご活動から見たこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト)



# 佐用町メモ@景観について

ご案内：春名様＋佐用町観光協会

# 平福地区の景観を守る活動 から見たこと

## ■ 解決したいまちの課題と目指す姿・成果

という問題・課題が

なったらいいな

## ■ どのような活動をおこなって

## ■ どこからお金をあつめて

## ■ どこで

## ■ 誰が・誰と・誰に (実施者・協力者・対象者)

## ■ まずどうなって (参加者の数、実施回数、アウトプット)

## ■ 何が変わった・変わっているのか (成果・効果・アウトカム・ポジネガインパクト)



# ご協力いただいた方々

市	御所属	お名前
豊岡市	豊岡まち塾 副塾長/豊岡まちなみ連盟会長 全国町並み保存連盟理事	松井 敬代 様
	豊岡まち塾/豊岡市地域おこし協力隊	ハミルトン 塁 様
	砂防の父 赤木正雄展示館 館長	赤木 新太郎 様
丹波市	丹波市復興女性プロジェクト会ほんぼ好 代表/ ひなたぼっこカフェ、農家民宿ひなたぼっこ	今井 頼子 様
	丹波市復興女性プロジェクト会ほんぼ好 メンバー	余田 すず代 様
	丹波市復興女性プロジェクト会ほんぼ好 メンバー	西村 恭子 様
	丹波市復興女性プロジェクト会ほんぼ好 メンバー	荻野 美千代 様
	丹波市復興女性プロジェクト会ほんぼ好 メンバー	荻野 典子 様
	こんちゃん農園 代表/ひなたぼっこカフェオーナー/ 農家民宿ひなたぼっこ	今井 貞夫 様
	こんちゃん農園 メンバー	近藤 喜作 様
	こんちゃん農園 メンバー	吉見 成人 様
	こんちゃん農園 メンバー	黒田 拓治 様
佐用町	兵庫県佐用町 元平福地域づくり協議会員/さよう防災 リーダー連絡会会長/平福文化と観光の会役員	春名 政男 様
	元佐用町企画防災課長 江川地域づくり協議会センター長/佐用日本語学校顧問	久保 正彦 様
	佐用町佐用ダスキンの社長、(株)かのね代表取締役/ 作用町内小学校語り部	四方田 康次 様
	元佐用町消防団長、(有)稲田農機 常務	松田 芳夫 様
	川田仏具仏壇店代表取締役 (株)かのね役員	川田 嘉男 様
	佐用町観光協会会長 (株)かのね副社長	北村 広樹 様
	上郡町地域おこし協力隊	野邊 友紀 様
オンライン 講座	国立大学法人新潟大学工学部 准教授/特定非営利活 動法人SEEDS Asia アドバイザー/特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター運営委員・理事/一般社団法人 日本インターナショナル・サポート・プログラム理事	上田 和孝 様

# ご参加いただいた方々

市	御所属	お名前
長野市	長沼地区住民自治協議会 まちづくり委員会 委員長	小川 喜彦 様
	長沼地区住民自治協議会 まちづくり委員会 第1グループリーダー	関 博之 様
	長沼地区住民自治協議会 まちづくり委員会 第2グループリーダー	岩崎 弘幸 様

# 付属・参考資料

## ■ 西曆・元号对照表 ■

西曆	元号		西曆	元号		西曆	元号		西曆	元号	
1890	明治	23	1948	昭和	23	1974	昭和	49	2000	平成	12
1891	"	24	1949	"	24	1975	"	50	2001	"	13
1892	"	25	1950	"	25	1976	"	51	2002	"	14
1893	"	26	1951	"	26	1977	"	52	2003	"	15
1894	"	27	1952	"	27	1978	"	53	2004	"	16
			1953	"	28	1979	"	54	2005	"	17
1928	昭和	3	1954	"	29	1980	"	55	2006	"	18
1929	"	4	1955	"	30	1981	"	56	2007	"	19
1930	"	5	1956	"	31	1982	"	57	2008	"	20
1931	"	6	1957	"	32	1983	"	58	2009	"	21
1932	"	7	1958	"	33	1984	"	59	2010	"	22
1933	"	8	1959	"	34	1985	"	60	2011	"	23
1934	"	9	1960	"	35	1986	"	61	2012	"	24
1935	"	10	1961	"	36	1987	"	62	2013	"	25
1936	"	11	1962	"	37	1988	"	63	2014	"	26
1937	"	12	1963	"	38	1989	平成	1	2015	"	27
1938	"	13	1964	"	39	1990	"	2	2016	"	28
1939	"	14	1965	"	40	1991	"	3	2017	"	29
1940	"	15	1966	"	41	1992	"	4	2018	"	30
1941	"	16	1967	"	42	1993	"	5	2019	令和	1
1942	"	17	1968	"	43	1994	"	6	2020	令和	2
1943	"	18	1969	"	44	1995	"	7	2021	令和	3
1944	"	19	1970	"	45	1996	"	8	2022	令和	4
1945	"	20	1971	"	46	1997	"	9	2023	令和	5
1946	"	21	1972	"	47	1998	"	10			
1947	"	22	1973	"	48	1999	"	11			

















## 【認定】特定非営利活動法人SEEDS Asia

SEEDS Asiaは、阪神・淡路大震災を機に設立された防災専門NPO/NGOで、災害に負けない人づくり・まちづくりを通じて持続可能な社会の実現を目指しています。

連絡先：SEEDS Asia 事務局

078-766-9412 / rep@seedsasia.org



本事業は、ジャパン・プラットフォームの支援によって実施しております。



2023年9月 発行